



THE AKAMATSU

知識の森 vol.53 通信

http://www.kyowa-u.ac.jp 編集：宇都宮共和大学入試広報委員会 発行：宇都宮共和大学

UTSUNOMIYA KYOWA UNIV.

宇都宮共和大学

宇都宮シティキャンパス 〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り1-3-18 TEL.028-650-6611
 長坂キャンパス 〒321-0346 栃木県宇都宮市下荒針町長坂3829 TEL.028-649-0511
 那須キャンパス 〒329-3121 栃木県那須塩原市鹿野崎131 TEL.0287-67-3111

index

P1

- 合宿交流研修
- キャンプ実習
- 子育て支援研究センター公開講座

P2

- オープンキャンパス開催
- シティライフ学シンポジウム
- 宵まち宮灯ろう
- 宮の朝活
- 入試について

2学部共通

合宿交流研修

4月22日(金)～23日(土)に鬼怒川温泉ホテル三日月にて、シティライフ学部と子ども生活学部合同の合宿交流研修を3年ぶりに実施しました。

1日目、シティライフ学部では「まちについてグループで考えよう!」というテーマで、グループに分かれて鬼怒川のまちを調査し、キャッチコピーのアイデアをまとめました。子ども生活学部では「あそびで仲間とつながろう」をテーマに、グループごとにダンスやゲームなどを実施し、保育者としての学びを本格的にスタートさせました。2日目は、交流研修の振り返りをした後、「大谷石」採掘の歴史を伝える大谷資料館を見学しました。



▲シティライフ学部の研修



▲大谷資料館にて



▲子ども生活学部の研修



▲ホテル内の水盤テラスにて

子ども生活学部

キャンプ実習



子ども生活学部では、8月6日(土)と7日(日)の2日間、キャンプインストラクター資格取得のためのキャンプ実習を学内の森で行いました。コロナ禍ということもあるため、学生・教員は両日抗原検査を行い、感染対策を徹底した上で、デイキャンプを実施しました。

1日目の午前、活動拠点とするキャンプサイトの設営、グループごとのテント設営、午後は、竹を用いたクラフト活動を行いました。2日目の午前、多目的アリーナにてレクリエーション活動を、午後は学内のこどもの森にて自然体験活動を行いました。

学生は、「みんなと2日間活動することができてとても楽しかった。この活動を通して自分が成長することができたと感じる。」と振り返っていました。

本キャンプ実習での学びをこれからの大学生活や専門職の学びに活かしてほしいと思います。



子育て支援研究センター公開講座

子育て支援研究センターの公開講座が、6月25日(土)に本学長坂キャンパス501講義室にて開催されました。千葉明德短期大学特任教授の深谷ベルタ先生をお迎えし、「遊ぼう! 『遊ぼうカー』の実践から」というテーマで、ご講演を頂きました。

ベルタ先生は長年にわたり、大量の粘土を車に載せて、保育園やこども園へ出向き、子どもと遊ぶプロジェクトを実践されてきました。「幼児期の造形」で大事なものは「作品」ではなく「感じること」にあるとお考えから、実践のエピソードを深く掘り下げ、子どもにとって大切なことは何かを丁寧に話してくださいました。

本学の4年生も保育指導法Ⅱの授業の一環として聴講し、大勢の保育士や関係者が参加されました。アンケートでは、「子どもにとっては感覚体験が重要」、「作品をつくるまでの過程を大切にしていきたい」などの感想があり、保育の質を見直す機会となったようです。



2学部共通

オープンキャンパス開催

宇都宮共和大学では6月4日(土)、7月16日(土)、8月20日(土)の3回にわたり、2022年度のオープンキャンパスを開催しました。参加者の検温と手指アルコール消毒のお願い、ソーシャルディスタンスを確保しての会場の設営など、感染防止に努め、対面でのイベントを無事終了しました。



子ども生活学部



子ども生活学部では、「キャンパスサポーター」の学生ボランティアが活躍しました。『体験してみよう』『先輩と語ろう』コーナーでは、授業で実践している手遊びや絵本の

読み聞かせなど、学生生活の実際について懇談しました。さらに『学部説明』では、学生へのインタビュー形式で子ども生活学部の多彩なカリキュラムや学生生活、実習、就職活動支援などについて紹介しました。

参加者の方からは、「学生の生き生きとした表情や、自身の言葉で語られる子ども生活学部の学びの豊かさを感じられ、オープンキャンパスに来て良かったです」という感想をいただきました。

『模擬授業』は、6月は杉本先生による『人間関係を豊かにする保育者としてのコミュニケーションワーク』を、7月は市川先生による『子どもの遊びと育ち』を、8月は田淵先生による『子どもの体と運動』を行いました。参加者のみなさまには具体的な演習を通して授業の一端を経験し、子ども生活学部の雰囲気を味わっていただきました。



▲学生インタビューによる「学部紹介」



▲「手遊び」体験



▲「入試相談」コーナー

シティライフ学部



シティライフ学部では、シティ・クエストをクイズラリー形式で行い、来場者の皆さんは、キャンパス内を巡りながら街についての間に挑戦しました。

まちづくり提案プレゼンテーションでは、「栃木県東部の隠れた魅力を引き出そう(6月)」「ろまんちっく村とクラフトビールを共同開発!#宮っこのひみつエール(7月)」について、学生が研究成果を披露しました。

模擬授業では、小浜先生による「経済系学部の学び(6月)」、北浦先生による「ブランドの力(7月)」に加え、飯島先生と寺内先生により商業資格や教職資格の指導室について説明がありました(8月)。

教員と卒業生との対談である「教えて!先輩」では、金融業、農業関連団体、自動車小売業、教育機関に勤務する卒業生を迎え、大学生生活や就職活動等について、恩師との楽しいトークが繰り広げられました。

在学生による「サークル紹介」「キャンパスライフ本音トーク」「先輩と語ろう」では、学生ならではの視点から本学の魅力を伝えました。



▲在学生によるサークル紹介



▲卒業生との対談「教えて先輩」



▲まちづくり提案プレゼンテーション

シティライフ学部

シティライフ学シンポジウム

7月5日(火)、「栃木県のインバウンド観光復興戦略を考える」をテーマに、シティライフ学シンポジウムを宇都宮シティキャンパスにて開催しました。

基調講演として公益財団法人日本交通公社 理事・観光政策研究部長 山田雄一氏から「サービス経済社会に活かすインバウンド観光—観光地域づくりの要点」についてご講演いただきました。

続いて、山田雄一氏に加え、松下正直氏(栃木県経済同友会筆頭代表理事)、田中基規氏(ザ・リッツ・カールトン日光セールスオフィス セールス&マーケティング部長)、藤井大介氏(株式会社大田原ツーリズム 代表取締役社長)、金彪氏(宇都宮脳脊髄センター・シンフォニー病院院長)、山田祐子氏(宇都宮共和大学シティライフ学部講師)をお迎えし、「食と農、産業と文化、高度先進医療とコンベンションの魅力発信」についてパネルディスカッションを行いました。



▲基調講演 山田雄一氏



▲パネルディスカッション

宵まち宮灯ろう

7月12日(火)、トナリエ宇都宮1階「ララ・ポケット」にて、宇都宮大空襲の犠牲者の追悼と中心市街地の活性化を目的としたイベント「宵まち宮灯ろう」が、本学サークル「町おこしTiger」の主催により開催されました。

最初に、宇都宮市立東小学校の「ひがし子ども和太鼓クラブ」による和太鼓の演奏が披露され、堂々とした姿での力強い演奏で幕開けとなりました。

続いて、太平洋戦争を経験された大野幹夫氏から当時の体験談と平和に対する考え方について講話があり、シティライフ学部学生を交えて対談が行われました。さらに、宇都宮大空襲犠牲者追悼として、渡邊響子氏によるヴァイオリン演奏と井上智美氏によるエレクトーン伴奏が行われました。

宇都宮市内在住の照明造形作家鎌田泰二氏が制作した黄ぶな灯ろうのほか、宇都宮市内の小中学生による手作りの灯ろうが舞台前に数多く展示されました。



▲対談



▲演奏

宮の朝活

5月27日(金)、宇都宮市中央生涯学習センターにて、宇都宮市生涯学習課人材がやきセンター主催の社会人向け講座「宮の朝活 第18弾」が開催されました。3回目となったこの日の講話では、「大学生がろまんちっく村と共同開発!#宮っこのひみつエール」と題して、シティライフ学部渡邊ゼミの学生2名と教員が登壇しました。

昨年度、渡邊ゼミでは、道の駅つづみのみやろまんちっく村を運営する株式会社ファーマーズ・フォレストと連携し、「#宮っこのひみつエール」というクラフトビール(地ビール)を開発しました。この講座では、開発に関して学生と教員双方の視点で紹介しました。

まず、学生より、開発に至る経緯や、実際の開発過程、商品にこめた思いやねらいなどをお話ししました。次に、「企業連携による商品開発の教育効果と課題」と題して、教員の立場からみた商品開発指導の方法、乗り越えるべき課題、教育効果についてお話ししました。



▲学生による説明



▲クラフトビールの紹介

入試について

●本学のアドミッション・ポリシーに基づき、「学力の三要素」を多面的・総合的に評価します。

入試区分	「学力の三要素」の評価方法		
	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等	③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
総合型選抜	提出課題・調査書・口頭試問・プレゼンテーション(選択者のみ)	提出課題・口頭試問・面接	面接・調査書・活動報告書(任意)
学校推薦型選抜(指定校制)	口頭試問・調査書	口頭試問・面接	面接・調査書・活動報告書(任意) 学校長推薦書
学校推薦型選抜(公募制)	小論文・口頭試問・調査書	小論文・口頭試問・面接	面接・調査書・活動報告書(任意) 学校長推薦書
特待生入試	筆記試験・調査書	筆記試験・面接	面接・調査書・活動報告書(任意)
一般選抜I期・II期	筆記試験・調査書・プレゼンテーション(選択者のみ)	筆記試験・面接またはプレゼンテーション	面接・調査書・活動報告書(任意)
共通テスト利用入試I期・II期	筆記試験・調査書	筆記試験	調査書・活動報告書(任意)

宇都宮共和大学HP 入試のご案内

入試概要はこちらから



【面接】 志望動機や「調査書」記載内容を中心に質問し、②と③についての評価を行います。

【口頭試問】 基礎学力や一般常識問題等を中心に質問し、①と②についての評価を行います。

【小論文・提出課題・プレゼンテーション】 自らの考えを事実や根拠に基づいて記述・発表したものに対して、①と②についての評価を行います。

【筆記試験】 必須・選択科目の試験を行い、①と②についての評価を行います。

【調査書】 記載内容に対して、①と③についての評価を行います。*

【学校長推薦書・活動報告書(任意)】 記載内容に対して、③についての評価を行います。*

*新型コロナウイルス感染予防のため、中止・延期となった大会や資格・検定試験等に参加できず、その結果を記載できない場合は、その間の成果獲得に向けた努力のプロセスを記載してください。